

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：令和5年12月15日

事業所名 幼児教室とことほげっと

保護者等数（児童数） 25 回収数 23 割合 92 %

※ 無回答は数値に含んでいないため、回答数と一致しません

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23				
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか	22	1			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22				
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	23				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	2			
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23				
	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	23				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13	6	4	他との交流は少ないが、たくさんのイベントがあるので満足している。	未就園児は機会を作るのが困難なため公園遊び等のプログラムを増やしていく。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1			
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	19	4		通所時や送迎時に細やかに対応していただいています。	保護者からの相談を受ける中で、支援の方法を一緒に考えている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23			課題やできたことを共有してもらえるので助かる。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23			子どもの様子や困りごとなど活動後に相談にのってもらえる。子どものことを理解し助言も的確でうれしい。	個別面談や少人数での面談を行っている。お子さんの日々の様子を見ながら面談以外でもお話しをしています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	2			保護者会の中で保護者同士の交流できる内容を検討していく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23				
	⑰	子どもの保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20	3			毎月のお便りで発信したり内容を工夫し、見やすいものにしていく。
	⑲	個人情報の取扱いに十分に注意されているか	21	2			
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	4			
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	4			避難訓練以外に、引き取り訓練などを検討していく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1		昼寝の時間と重なりその日によって気分が変わる。	時間内でさらに楽しい活動になるよう努めていきます。個々の調子に合わせてフォローしていく。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	23			一人でできることが増えている。集団生活の楽しさを感じている。親にとっても心強い。活動の様子をみたい。就学後も通えると良かった。	今後も保護者と協力して子どもたちの発達支援に努力していきます。参観日や親子参加などを検討していく。卒室後も先輩ママとして交流できる場を設けていく。